

なりたの森あそび体験

秋の森であそぼう

尾澤伸幸（千葉市）

日 時：2023年11月22日（水）9:15～11:20、天気：晴れ

場 所：成田市倉水の森（管理者：北総里山倶楽部）

参加者：成田市立大栄みらい学園1年生40名、教員4名、成田市農政課2名、

ちば里山センター1名、北総里山倶楽部4名

担当指導員：晝間 莊子 渡辺 尾澤

落葉がすすむ木々の間に差し込む日ざしは暖かく森遊びには絶好の日和。バスが到着、40名の元気な1年生とあいさつを交わした後、4つのグループに分かれ、森遊びが始まった。

○「じゃんけん落ち葉拾い」…まず森遊びウォーミングアップ。二人組で「じゃんけんぽん」勝ったら、気に入った葉を拾う。相手を変えながらじゃんけんが続く。元気な声が森に響いた。

○「葉っぱじゃんけん」…「丸い葉っぱじゃんけんぽん」「穴のあいた葉っぱじゃんけんぽん」「ちくちく葉っぱ…」いろいろな葉っぱがあることに気づかせた。

○「秋のビンゴ」…9マスの大きなダンボールで秋みつけビンゴ。森の中にある秋らしいものを話し合い、赤い葉、黄色い葉、茶色い葉、ドングリ…など9つの項目が決まったらスタート。森の中に広がり秋探し。虫はカップに入れて持ち帰り、マスの中に置いた。

○「ドングリゲーム」…ビンゴのダンボールの裏を使う。ビンゴで集めた枝を障害物として自由に置き、スタートとゴールを決めたら、みんなで協力しながらドングリを転がしてゴールを目指した。

○「葉っぱのステンドグラス」…いもむし、トンボ、クリスマスツリーなどの黒い切り抜き台紙に気に入った葉をテープでとめていった。森に飾ると木漏れ日を受けてとてもきれい。みんなで見合った。

（休憩）

○「落ち葉と遊ぼう」…落ち葉を山のように積み、跳んだり、寝転んだり葉っぱをかけ合ったり…。落ち葉だらけになって葉の感触を楽しんだ。最後は「落ち葉飛ばし」シートに落ち葉の山を乗せ、みんなでシートの縁を持ち、1,2,3,4,5で上に振り上げ飛ばした。「この落ち葉どうなるのだろう」「土になる、なくなる…」「不思議ね??」夢中になって遊んだ子供たちに落ち葉のゆくえを考えさせた。

○「絵本の読み聞かせ」…絵本「おちばのしたをのぞいてみたら…」の読み聞かせをした。



終わりの会では、「落ち葉の山を飛んだのがおもしろかった。」「葉っぱじゃんけんが楽しかった」「また遊びたい」という感想があった。最後には森や森を管理している人たちへ元気に「ありがとうございました。」の感謝の言葉を述べ、学校へ帰っていった。